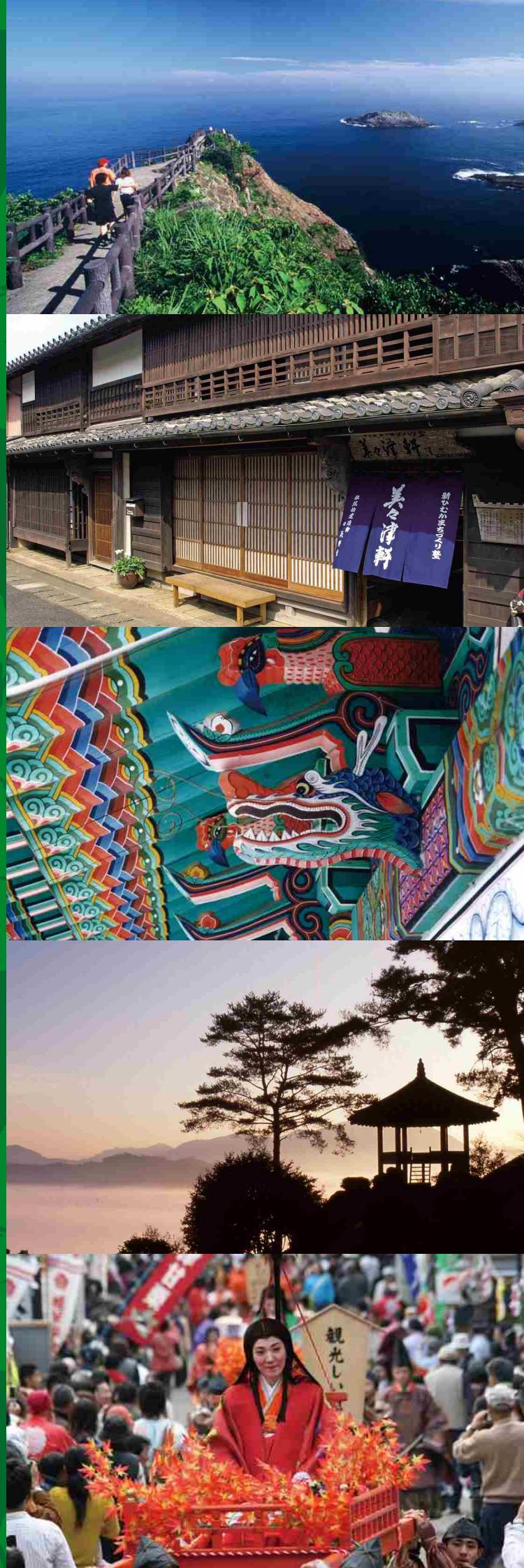


# ひゅうが奥日向 木文化造巡 の文化と物語

魅力再発見の旅。





# 木の文化・歴史・食を巡る、ひゅうが奥日向の旅。

宮崎県は日本一のスギの生産地。

その中心となっているのが、

県北の日向市と、それに隣接する入郷地域(奥日向)です。

これらの地域には伝統的な木造建築が多く残り、

豊富な森林資源とそれがもたらした産業、

暮らしとの結びつきを知ることができます。

伝統的な木造建築を巡りながら、日向・入郷地域の歴史と文化、

食を楽しむ新しい旅へお出かけください。



## 耳川ルート

日向市→椎葉村

日向市駅を起点に  
母なる川・耳川沿いを上流へ。  
諸塙村、椎葉村には  
森林が育んだ昔ながらの家屋と文化、  
暮らしがあります。

十根川集落

椎葉民俗芸能博物館

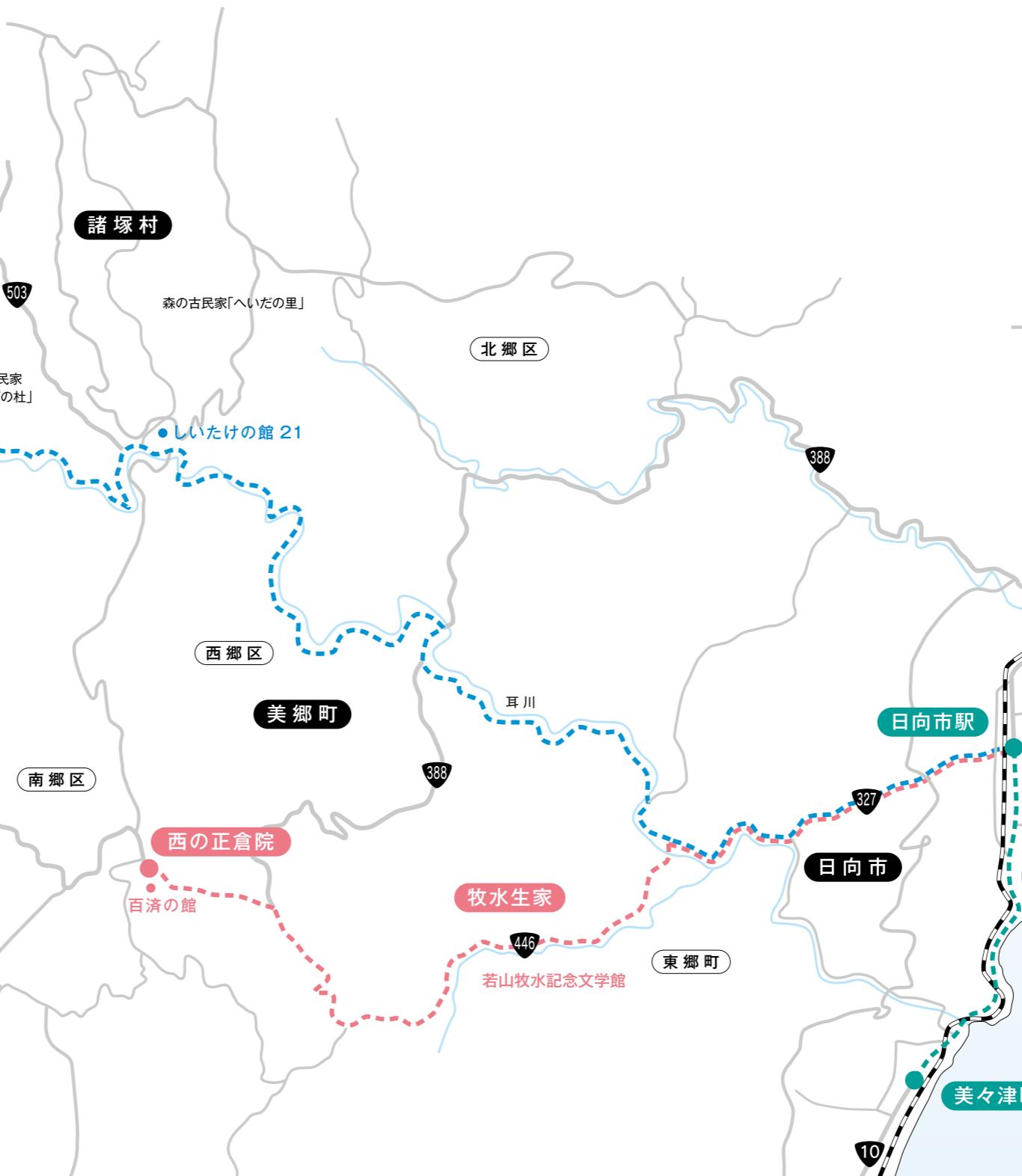
鶴富屋敷

椎葉村

## 山ルート

日向市→美郷町

百濟王伝説が残り、奈良・正倉院の  
原図通りに建築された西の正倉院と、  
自然を愛した歌人・若山牧水の  
故郷を巡るルートです。



## 海ルート

日向市

鉄骨と木材を組み合せた  
斬新なデザインの日向市駅から、  
東九州の玄関口として海運が盛んだった  
2つの港まちを巡ります。

# 日向市駅 美々津町並保存地区 細島みなど資料館

## 物資の集積地として 繁栄した東九州の 陸と海の玄関口

日向市・入郷地域を流れる耳川は椎葉村に源を発し、諸塙村、美郷町を経て日向市・美々津で日向灘へ注ぎます。この地域に暮らす人々は古くから耳川の水運を利用して物資を運んできました。

それらの物資は河口の日向市・美々津に集まり、美々津から大型船で関西へ運ばれていました。美々津のまちには廻船問屋や料理屋が軒を並べ、上方文化が花開きます。その繁栄ぶりは「美々津千軒」と呼ばれ、今もその町並みが残ります。

河口のもう一つのまち細島は、江戸時代、高鍋藩や薩摩藩の参勤交代の出港地。武士や商人が行き交い、人の交流が盛んでした。昭和20年代に細島港臨海工業地帯が造成されると工業港として、またカツオやマグロの漁港としても発展します。

ここでは地元のスギ材を使って新しく建築された日向市駅から、これらの繁栄が偲ばれる建物や町並みを巡ります。



波の侵食によってできた「願いが叶うクルスの海」。山、川、海が交わる地点でもあります

鉄骨と木材が見事に調和し、「ブルネル賞」を受賞したまちの玄関口

海ルート  
日向市

# 日向市駅

日向市



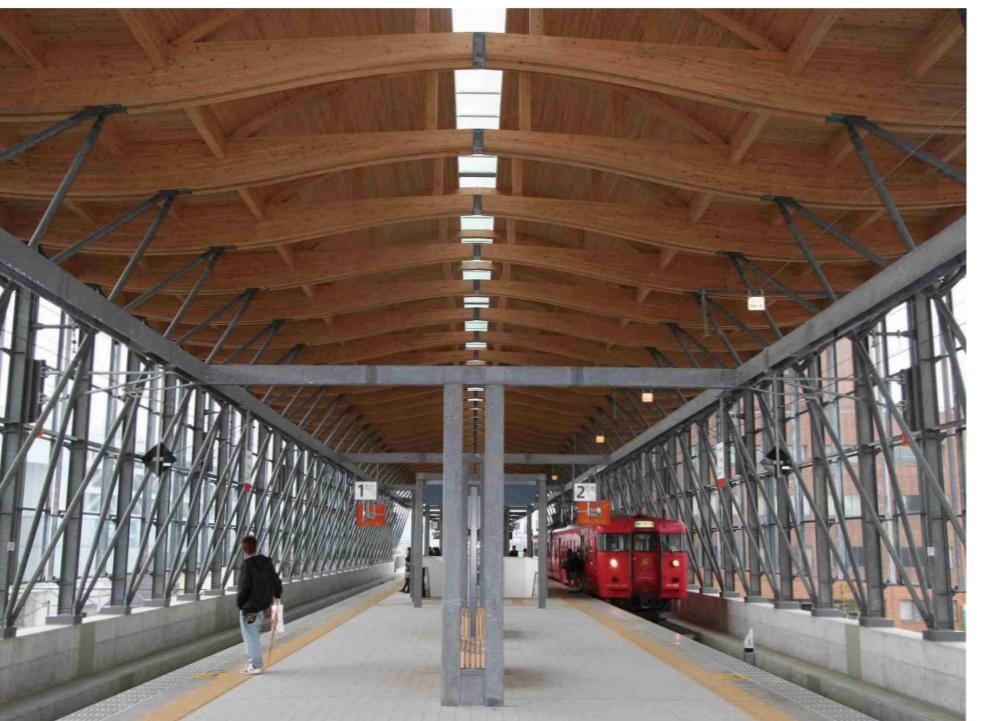
西口から見た駅舎。駅のひさしに取り付けられた幾何学模様の木組みが美しく、夜は暖かい色合いのライトが灯って一層綺麗です

JR日豊本線が市街地を分断し、まちの発展の障害となっていた日向市。平成9年からの連続立体交差事業によって鉄道は高架化され、同時に日向市駅が誕生しました。

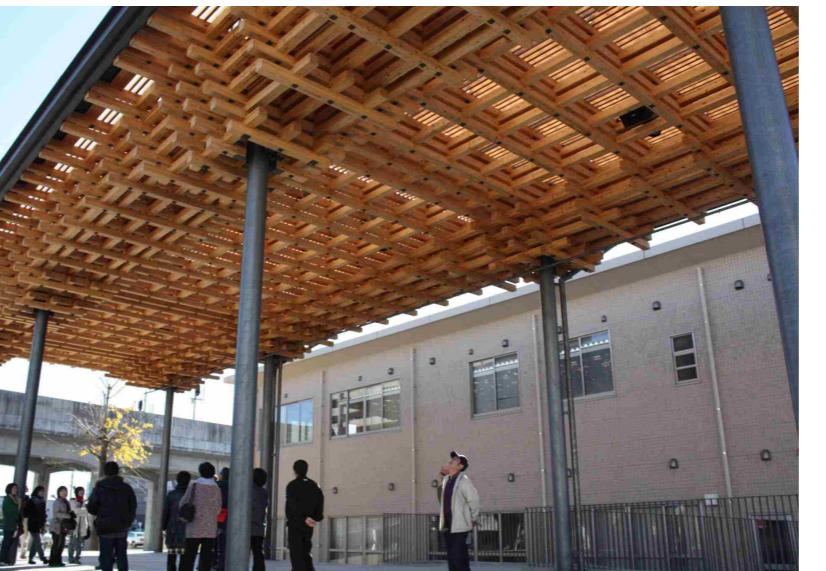
駅は柱を鉄骨、梁を木造としたハイブリッド構造で、木造部には地元・耳川流域のスギ材を使用しています。上屋の壁の部分は二面ともガラス張り。これまでの駅の印象をガラリと変える、明るく開放的な空間です。その斬新なデザインと構造により、日向市駅は2008年、世界最高とされる鉄道デザイン賞「ブルネル賞」を日本で初めて受賞しました。



防風スクリーンの間から風が通り抜けるホーム。ガラス張りだから街の景色が見え、気分は爽快です



二線の小さな駅ながら主要な列車がスッポン入りするトレインシェット形式のホーム。船を思わせる重厚さと曲線美を備えています



西口駅前は銀杏、桜、芝生を配した交流広場。イベントに利用できる野外ステージもあります



行政、市民、専門家による日向地区都市デザイン会議がコンセプトを策定。駅周辺でも再開発が進んでいます

駅前にはり出した屋根  
つきのひさし(キャノ  
ピー)によって通行しや  
すく、雨天時も快適です



駅構内にあり、情報受発信および交流施設としての機能を持つ「日向地域情報センター・まちの駅とみたか」。観光案内所や物産展示所・休憩所を備え、日向・入郷地域の観光情報の提供や特産品の販売を行っています。  
TEL0982-54-4228 / TEL0982-55-0235(日向市観光協会)



寄り道  
スポット



## 日向サンパーク

目の前に太平洋の大パノラマが広がる温泉「お舟出の湯」やテニスコート、草スキー場、アスレチック遊具などが整備され、一日中楽しめる公園です。隣接するオートキャンプ場にはコテージもあります。

日向サンパーク TEL0982-58-0636

日向サンパーク温泉 TEL0982-56-3800



## 集成材工場 (日向市東郷町)

日向の杉を集成接着して床材などを作る工場。小さな角材から台形に接着し、さらに一枚の板に。そうしてできた集成材は強度に優れ、全国に出荷されています。これら日向の集成材技術が日向市駅の建築に生かされました。

道の駅日向

## 道の駅日向

日豊海岸国定公園内にあり、日向灘を一望できます。地元の朝どれ野菜、だんご・漬物などの加工品、椎茸やワインなどの特産品を販売し、焼きそばなどを味わえる軽食コーナーもあります。  
TEL0982-56-3809

廻船問屋が軒を連ね、「美々津千軒」と呼ばれるほど繁栄した港まち

海ルート  
日向市

# 美々津町並保存地区

日向市

美々津は江戸末期から大正時代にかけて、耳川水系を利用して運ばれた木炭や椎茸などの関西への積出港として栄えました。「美々津千軒」と呼ばれた最盛期には400戸が軒を並べたといいます。

まちは上町、中町、下町の3本の通りによって形成され、上町は昔の街道で高鍋藩の番所など公の建物がありました。中町は廻船問屋などの商人まち、下町には職人や漁師が住みました。今でも古い家々が残り、その町並みに当時の繁栄を偲ぶことができます。



## 日向市歴史民俗資料館

美々津屈指の廻船問屋「河内屋」を修復し、美々津の歴史資料を展示しています。虫籠窓や京格子など京都や大阪の町家造りを取り入れた建物としても注目されます。

TEL0982-58-0443



上町の町家を利用したカフェ。内部をほとんど改装していないため、往時の空間を体验できます



こちらも明治時代の建物を復元した「美々津軒」。講演会や講座、歴史体験の場として利用されています。軒先のばんこは美々津独特のものです。TEL0982-58-1229

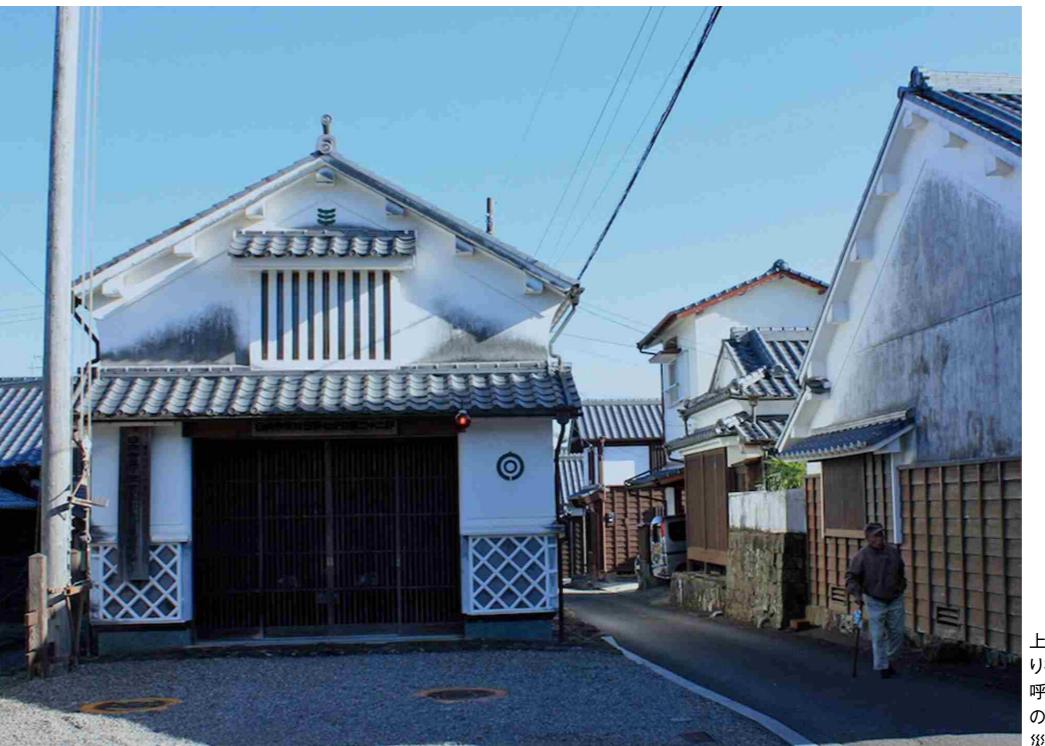
## COLUMN

### 地域ガイドが まちを案内します

歴史や背景を知ると、まち歩きはいっそう楽しくなります。美々津では地域ガイドが歩きながら、見どころ、建物の特徴などを解説してくれます。美々津まちなみセンター(TEL0982-58-0661)にお問い合わせください。



特産品販売・お休み処の「美々津まちなみセンター」。TEL0982-58-0661



上町、中町、下町の3本の通りを貫くように「ツキヌケ」と呼ばれる大きな道は、防火用の道。今、通りの真ん中に防災センターが建っています。



400年変わらない美々津の町割り。現在、海は埋め立てられ、まちから遠くなりました

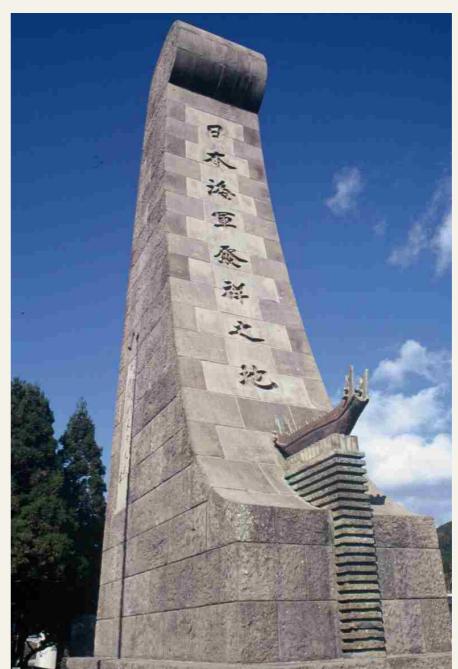


## 寄り道 スポット



### 美々津手しき和紙

石並川の豊かな清流を利用して作られる宮崎県の伝統的工芸品。障子紙や書道紙、便箋、名刺、のれんなどが作られています。深い味わいと温もりが感じられる逸品です(宮崎県伝統無形文化財、現代名工)。TEL0982-58-0674



### 日本海軍発祥の地

美々津は神武天皇のお舟出の地であり、日本海軍は天皇が統帥されたことから、昭和15(1940)年に美々津を「日本海軍発祥の地」と定め、記念碑を建てました。戦後、取り壊されましたが、昭和44(1969)年、復元されています。

## COLUMN

### 神武天皇 お舟出の地

神武天皇は宮崎市の皇宮屋(こぐや)で御東征のための軍議をされ、大和へ向かうことを決心なさいます。そして船を出されたのが、ここ美々津の港でした。美々津は神武天皇の御東征の出発地、「お舟出の地」と伝えられています。

参勤交代の港であり、漁港、工業港として栄えた細島港には、宿泊所となった建築物が残ります

海ルート  
日向市

## 細島みなと資料館

日向市

江戸時代には参勤交代に利用され、漁港として、また国際貿易港として発展した細島港。そのまちの繁栄を伝えるように建つのが、「日向市細島みなと資料館」。旧高鍋屋旅館で、大正時代は全国の商人の宿、戦後は会社の宿泊所として利用されました。正面玄関の唐破風屋根など当時の雰囲気をよく残しています。



旅館として利用された部屋。内部には歴史資料が展示されています



寄り道  
スポット



### 妙国寺庭園

1342年に創建された日蓮宗の古刹。背後の米ノ山の自然林を借景にした池泉式庭園は見事で、国指定文化財になっています。  
TEL0982-52-2111  
(日向市教育委員会)



願いが叶うクルスの海  
馬ヶ背の近くにあり、波の浸食によって自然にできた景観。十文字に見えることからこう呼ばれています。クルスの鐘を鳴らす結婚式も行われます。  
TEL0982-52-2111  
(日向市観光振興課)

### 海の駅ほそしま

黒潮流れる日向灘で獲れた新鮮な海産物や加工品を販売しています。海の見えるレストランを併設し、地元で獲れた魚介類を使った料理が評判です。  
TEL0982-52-0771



### 馬ヶ背

日向市から大分県まで約70kmに渡ってリアス式海岸が続く日豊海岸は国定公園に指定され、素晴らしい眺望を誇ります。中でも1500万年前に火山の噴火でできたといわれる馬ヶ背の断崖絶壁は圧巻です。  
TEL0982-52-2111  
(日向市観光振興課)



山ルート 日向市→美郷町

## 西の正倉院 牧水生家



### 豊かな自然が数々の伝説と創作への思いを伝えます

美郷町南郷区に伝わる伝説によると、白村江の戦いで敗れた百済の王族が日本に亡命して南郷に移り住み、その後、都から追討軍を送られて百済の王族は最期を遂げたのだとか。この地に残る王族の遺品「唐花六花鏡」などを後世に伝えるため、奈良の正倉院の原図通りに「西の正

倉院」が建てられました。館内に貴重な宝物が展示され、一般公開されています。美郷町との境にある日向市坪谷は歌人・若山牧水の生まれ故郷。幼少期を過ごした生家が今も残ります。生家は清流・坪谷川と秀峰・尾鈴の山並みを望み、その豊かな自然を見ると、故郷を偲び、山間

地を好んで旅した牧水の思いを感じることができます。西の正倉院、牧水生家ともに静かな山里にあり、格好の癒しの場所。明るい光と緑に包まれたであろう百済の王族や牧水へ思いを馳せながら、ゆっくり歩いてみませんか。

百済王伝説の残るまちで奈良正倉院と同じ寸法で再現された平成の文化財

山ルート  
日向市→美郷町

# 西の正倉院

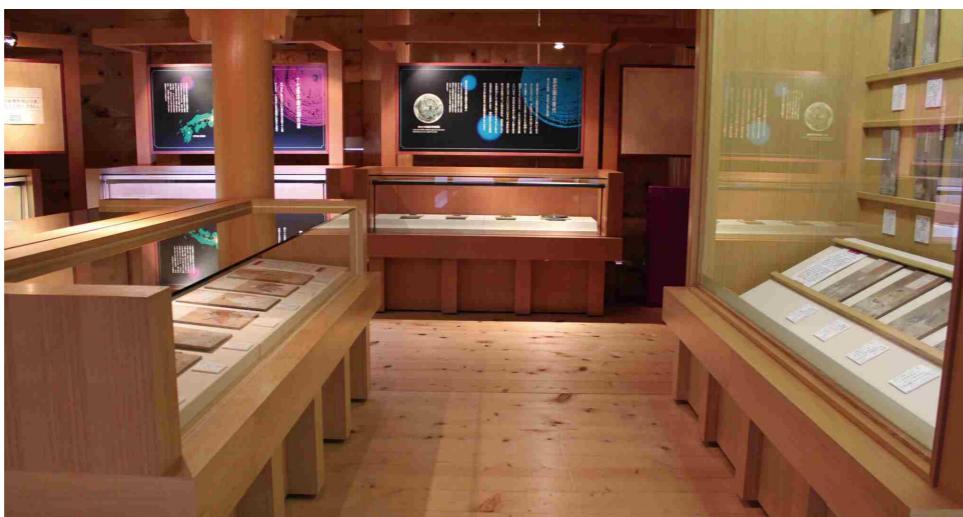
美郷町



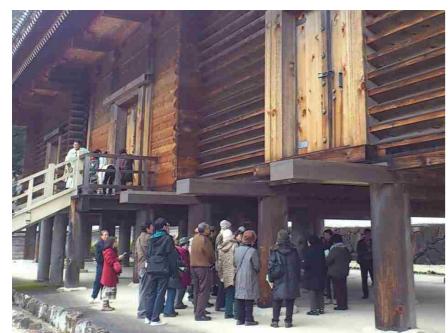
木造校倉造り高床式構造。瓦は38,000枚、原木800本が使われ、延べ9831人の宮大工によって建てされました

南郷区に伝わる百済王伝説と師走祭り、神門神社の社宝・銅鏡24枚などを保存展示する「西の正倉院」。宮内庁や奈良国立文化財研究所などの協力により、門外不出とされた奈良正倉院原図をもとに樹齢400~500年の木曾天然ヒノキで奈良正倉院と寸分たがわぬように再現されました。計画から完成まで10年の歳月をかけた平成の文化財です。

床下2.5m、高さ13m。4階建てビルに匹敵する大きさに、訪れる人は驚きの声を挙げます。内部は見学でき、地元ガイドが案内してくれます。



吹き抜けの展示室に神門神社から見つかった鉢1006本や文化財、「師走祭り」の資料が展示されています



床下は大人が入れる高さ。  
礎石は地元の天然石で、石の形に合わせて柱をカットするこだわりようです

## COLUMN

### 地元ガイドが案内します

建設の計画時から関わった地元住民の皆さんが西の正倉院周辺を案内します。事前にお問合せください(美郷町南郷支所企画情報課 TEL0982-59-1601)。



屋根の柔らかな反りが天平時代を思わせます

## COLUMN

### 百済王伝説

7世紀、唐と新羅の連合軍との戦いで敗れた朝鮮半島の古代国家・百済の王族一行が日本に亡命した後、南郷区に移り住んだといわれています。やがて王族一行に都から追討軍が送られ、激しい戦火の後、王族一行は最後を遂げました。父王は南郷区の神門神社に、王子は木城町の比木神社に祀されました。



寄り道  
スポット



### 百済の館

韓国の古都・扶餘の王宮跡に建つ客舎をモデルにし、瓦や敷石を韓国から取り寄せて韓国の職人たちが腕をふるって復元されました。内部は百済文化を紹介する資料館です。

TEL0982-59-1601

(美郷町南郷支所企画情報課)



### 神門神社

718年創建と伝わります。類例の少ない流造の本殿、七間社流造の拝殿を持ち、中世的な技法や要素を残しながら近世の手法を備え、国の重要文化財に指定されています。

TEL0982-59-1601

(美郷町南郷支所企画情報課)



### 恋人の丘

南郷区の中心部を見下ろす場所にあり、雲海に浮かぶ展望所です。ここにある「絆の鐘」をカップルや親子で一緒に鳴らすと、絆がより強くなるといわれています。

TEL0982-59-1601(美郷町南郷支所企画情報課)



### 南郷温泉・山霧

神門神社の裏山から温泉が湧き出したことから百済王の贈り物といわれています。入浴後は肌がもちりするといい、「美人の湯」ともいわれます。

TEL0982-59-0100



### 師走祭り

●旧暦の12月18日~20日に近い金・土・日曜日

離れ離れに祀られている百済王族の御靈を慰める形で行われる祭り。2泊3日をかけて90kmを移動する巡回形式で、1000年を超えて今なお受け継がれています。

自然を愛した旅の歌人・若山牧水の歌は自然豊かな地に立つこの家から生まれました

山ルート  
日向市→美郷町

# 牧水生家

日向市



若山牧水が生まれた家は、江戸時代後期、江戸、福岡、長崎で漢学・蘭学・西洋医学を学んだ祖父・健海によって建てられ、診療所を兼ねています。目の前に広がる豊かな自然と家族の愛情。自然をこよなく愛した牧水の歌のルーツを垣間見ることができます。



左手が日当たりのいい4帖の診療室。縁側がないので直接日が差し込む、明るい部屋です



医院としての機能を持たせるため、当時としては大きな構え。町家と山村住居の特徴を併せ持つのも特徴です

寄り道  
スポット



## 牧水公園・ 若山牧水記念文学館

公園には飲食施設やキャンプ場などがあります。地元女性による「いなか御膳」は地元の食材たっぷりで大好評(事前予約)。県産のスギヒノキで建てられた文学館には牧水の直筆原稿などが展示されています。

TEL0982-69-7720(牧水公園ふるさとの家)

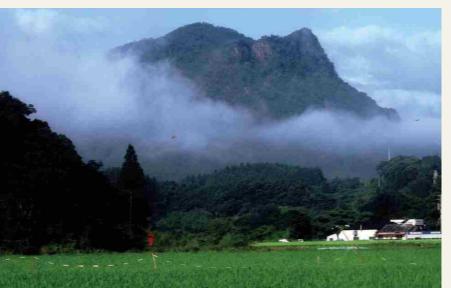
## 道の駅とうごう

雄大な耳川の流れや尾鈴山、冠岳の山並みが見える自然豊かな場所にあります。物産センターには地元の特産品が並んでいます。  
TEL0982-68-3072



## 冠岳

東郷町のシンボル・冠岳は登山道が整備され、頂上には休憩所があります。春はヤマザクラやツツジが色鮮やかに山を染めます。  
TEL0982-52-2111(日向市観光振興課)



耳川ルート 日向市→椎葉村

# 鶴富屋敷 十根川集落 FSC認証の森



闇達な表情と霧に沈む表情。二面性を秘めながら、耳川は今日も流れています

## 川と森に生きる人々の文化と暮らしが息づきます

耳川は、昔から急峻で水量の豊富な河川として知られていました。流域は道路のない陸の孤島といわれ、V字の谷が連続する急流を高瀬舟と呼ばれる小舟で行き来し、物資を下流に運んだものです。

大正時代末期、重工業化の流れとともに電力供給源として耳川の水利権が求め

られ、住友財閥らで電力会社が設立されます。ところが、電源開発を進めるにも道路がありません。そこで住友財閥から道路建設に必要な経費100万円が寄付されました。それが耳川沿いを走る国道327号線、俗にいう「百万円道路」です。

平家伝説の里・椎葉村の鶴富屋敷。石

垣で築かれた地に12戸が暮らす十根川集落。日本の原風景を残すためのさまざまな活動を行っている諸塙村。「木の川ルート」ともいえるこれら耳川流域には、川と森を大切にして生きる人々の文化と暮らしが息づいています。

平家を追討する武将と平家のお姫様の悲恋の舞台。築300年の姿を留めています

耳川ルート  
日向市→椎葉村

# 鶴富屋敷

椎葉村



平地が少なく山の斜面をうまく利用した、椎葉独特の一列平面形式の鶴富屋敷。中には囲炉裏があります



日の差す方に縁側が広がる。室内の山側の壁は押入れを配され、土砂崩れの被害を食い止める工夫も



平家の落人伝説が残る椎葉村。源氏の命で追討に向かった那須大八郎は平家の末裔・鶴富姫と出会います。その恋物語の場所となったのが鶴富屋敷。築300年といわれ、国の重要文化財に指定されています。家屋全面に縁を横一列に設けて各部屋を配した、横に長い「並列型民家」と呼ばれます。

寄り道  
スポット



## 椎葉民俗芸能博物館

椎葉村に受け継がれてきた儀礼、慣習、民俗芸能文化、平家落人伝説などを紹介しています。観光協会が併設されています。

TEL0982-68-7033



## 物産センター平家本陣

豊かな自然が育んだ椎茸やそばなどの山の幸や椎葉特産・菜豆腐などの加工品を販売しています。

TEL0982-67-3140

## 平家まつり

●11月の第2金・土・日曜

静かな山里に艶やかな色彩が踊るお祭り。3日間にわたって行われ、十二単をまとった平家のお姫様とよろい姿の源氏の武将が村をゆっくり進んでいく「大和絵巻武者行列」が見どころです。



## 椎葉厳島神社

平家追討の命を受けた那須大八郎が椎葉山中の平家残党の姿を憐れみ、厳島神社の守護神を勧請して建立したといわれます。

TEL0982-68-7033  
(椎葉民俗芸能博物館)



椎葉型といわれる民家と馬屋、倉、そして石垣が美しい景観を形成しています

耳川ルート  
日向市→椎葉村

# 十根川集落

椎葉村

鶴富屋敷の北東、山並みが連なる場所に位置する十根川集落は、標高550m前後のゆるやかな南斜面に屋敷地と農地が集中しています。集落の全域にわたって石垣が分布し、中には高さ4m、長さが40mを超える石垣も。椎葉型民家をそのままの姿で保存した公開施設があり、見学できます。椎葉村観光協会 (TEL0982-67-3139)へお問合せください。



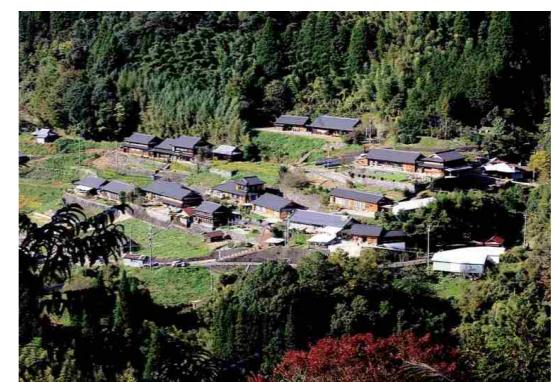
石垣はまるで城壁のよう。石垣は民家と民家をつなぐ通路でもあり、階段を上っていくと最上段の民家へたどり着く



最上部の公開施設は見学でき、地元ガイドが案内してくれる



石垣と屋根の織りなすラインが美しい景観を成す十根川集落。石段は切石で組まれ、加工精度が高い



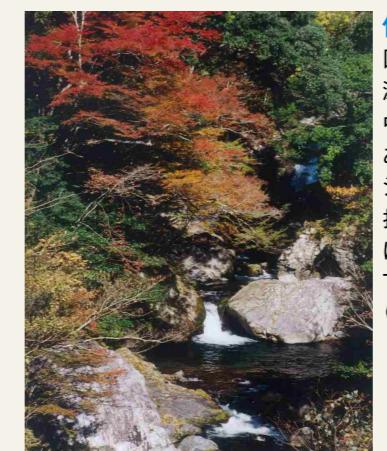
ゆるやかな斜面にある十根川集落。等高線に沿って長細く家屋が建つ



## 十根川神社・八村杉

十根川集落の氏神とされる十根川神社。朱塗りの本殿が美しい神社です。境内の八村杉は幹周り19m、樹高54.4mあり、国指定天然記念物。周囲はイチイガシやトチノキなどの巨木が繁り、森林浴に最適です。

TEL0982-67-3139(椎葉村観光協会)



## 仲塔渓谷

国道265号線を五ヶ瀬町方面に向かう途中の国見トンネル前にあり、春はミツバツツジ、秋は紅葉と、四季折々に見せる渓谷美は村随一です。

TEL0982-67-3139  
(椎葉村観光協会)



## 大久保のヒノキ

標高700mの山腹にあり、推定樹齢800年の国指定天然記念物。幹周り9.3m、樹高32m。ヒノキはこの集落を開拓した先祖の墓印とされています。

TEL0982-67-3139(椎葉村観光協会)

「森に生きる村」諸塙村の森づくりは自然と人間が共生する耳川の森林文化の象徴です

耳川ルート  
日向市→椎葉村

# FSC認証の森

諸塙村

針葉樹と広葉樹がモザイク模様を成す「モザイク林相」は、山を守り、自然と共生しながら村づくりを進めてきた諸塙村の象徴です。世界的なFSC森林認証も取得している日本の原風景といえる森林に触れ、建築を生み出す文化に触れ、心癒される旅を楽しめます。



村では産直住宅を推進し、木材産地ツアなどをっています



村の95%を山林が占める諸塙村。この豊富な森林資源を生かし、建築用材だけでなく、しいたけの産地としても知られています

エコミュージアム  
もりつか  
しいたけの館 21

観光や森林、家づくりのことなどの総合情報発信基地。さまざまなイベントも企画されています。

TEL0982-65-0178  
(諸塙村観光協会)



1階のレストラン「どんこ亭」ではランチバイキングが人気



寄り道  
スポット



森の古民家

築130年以上の古民家「やましげの杜」など、3軒の古民家を現代風にアレンジし、体験型交流施設であり、体験宿泊施設でもあります。

TEL0982-65-0178  
(諸塙村観光協会)



物産品販売所  
「もりっこはうす」

高品質のどんこ椎茸「霧六峰」やシイタケドレッシング、ゆずごしょうなどの特産品や、地元の新鮮な野菜、地元の焼酎などを販売しています。

TEL0982-65-0264

諸塙山

古くから神山として人々の信仰の対象となっていた山で、諸塙村の名前はこの山に由来します。日本一早い山開きをはじめ、アケボノツツジの群生も有名です。(標高1341.6m)

TEL0982-65-0178  
(諸塙村観光協会)



池の窪グリーンパーク

標高800mの場所にある自然たっぷりの公園。キャンプ場や木材をたっぷり使った本格的な宿泊用のログハウスがあります。

TEL0982-65-0178  
(諸塙村観光協会)



## イベント情報

師走まつり 1月下旬／美郷町

商美郷町南郷支所企画情報課 ☎0982-59-1601

諸塙神楽 1月中旬～2月上旬／諸塙村

商諸塙村観光協会しいたけの館21 ☎0982-65-0178

日本一早い！諸塙山山開き 3月第1日曜日／諸塙村

商諸塙村観光協会しいたけの館21 ☎0982-65-0178

ロードレース in 百済の里 3月上旬／美郷町

商ロードレースin百済の里実行委員会 ☎0982-59-1605

世界森林認証祭「森の恵の感謝祭」3月中旬／諸塙村

商諸塙村森林認証研究会 ☎0982-65-1116

日向ひよとこマラソン 3月中旬／日向市

商日向ひよとこマラソン実行委員会(日向市文化スポーツ課) ☎0982-53-4791

牧水の里の春祭り・牧水公園つつじ祭り 4月中旬／日向市

商日向市観光協会 ☎0982-55-0236

諸塙クロスカントリー大会 4月第3日曜日／諸塙村

商諸塙村教育委員会 ☎0982-65-0072

扇山山開き 5月第2日曜／椎葉村

商日向市観光協会 ☎0982-67-3203

南郷温泉春祭り 5月上旬／美郷町

商美郷町観光協会 ☎0982-59-1601

九州ウェイクボードサーフィット石峰レイクランドカップ 5月中旬／美郷町

扇山山開き

紫陽花祭り 6月下旬／美郷町

商美郷町北郷支所企画情報課 ☎0982-62-6201

九州玉入れ選手権大会 6月最終日曜日／諸塙村

商全日本玉入れ協会九州協会 ☎0982-65-1111

細島みなと祭り 7月下旬／日向市

商細島みなと祭り奉賛会 ☎0982-54-0323

御田祭納涼花火大会 7月第1土曜／美郷町

商美郷町企画情報課 ☎0982-66-3603

椎葉村夏まつり花火大会 7月下旬／椎葉村

商椎葉村総務課 ☎0982-67-3203

日向ひよとこ夏祭り 8月第1土曜／日向市

商ひゅうがひよとこ夏祭り実行委員会事務局(日向市観光協会) ☎0982-55-0235

百済の里いだごろ祭り 8月15日／美郷町

商美郷町南郷支所企画情報課 ☎0982-59-1601

ひえつき節日本一大会 9月第2土・日曜／椎葉村

商椎葉村総務課 ☎0982-67-3203

日向十五夜祭 9月中旬／日向市

商日向十五夜祭奉賛事務局(日向商工会議所内) ☎0982-52-5131

牧水祭 9月中旬／日向市

商日向市観光協会 ☎0982-55-0235

美々川音楽祭 10月中旬／美郷町

商美郷町企画情報課 ☎0982-66-3603

椎葉郷土芸能の夕べ 10月下旬～11月中旬／椎葉村

商椎葉村総務課 ☎0982-67-3203

日向はまぐり碁石まつり 11月上旬／日向市

商日向はまぐり碁石まつり実行委員会(日向市商工港湾課) ☎0982-52-2111

黒岳もみじ祭 11月上旬／諸塙村

商諸塙村観光協会 ☎0982-65-0178

椎葉平家まつり 11月第2金・土・日曜／椎葉村

商椎葉村総務課 ☎0982-67-3203

椎葉神楽 11月中旬～12月下旬／椎葉村

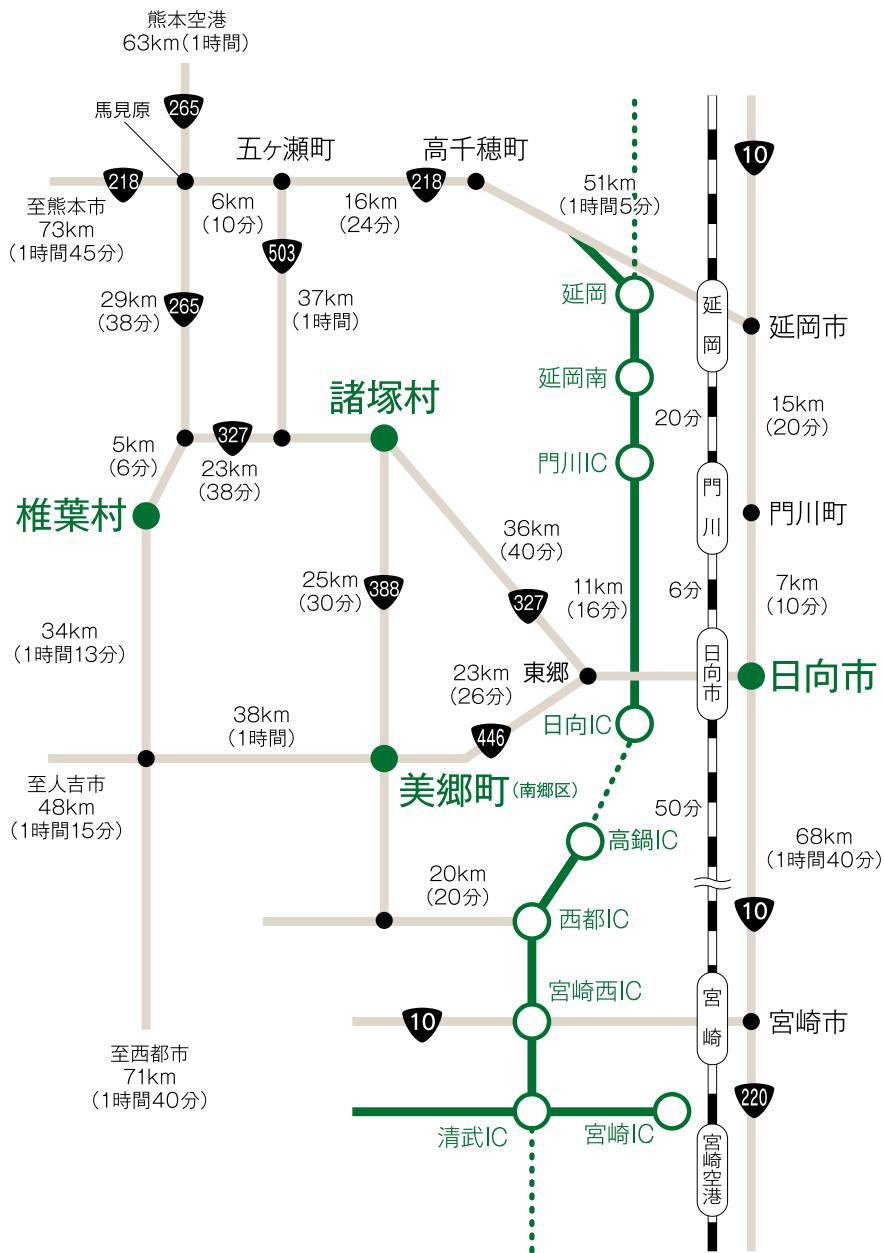
商椎葉村総務課 ☎0982-67-3203

牧水かるた大会 12月下旬／日向市

商日向市教育委員会 ☎0982-52-2111



## 交通アクセス



《平成23年度地域力活用新事業∞全国展開事業》

### 日向商工会議所

宮崎県日向市上町3番15号

TEL 0982-52-5131

<http://www.miyazaki-cci.or.jp/hyuga/>